

令和5年度 山城地方社会教育委員連絡協議会研修会

令和6年1月12日(金)宇治田原町総合文化センターにおいて山城地方の社会教育の各市町(広域連合)教育委員会関係者(社会教育委員・社会教育関係団体・学校関係者等)などを対象とした研修会を開催しました。約80名の参加がありました。

研修主題は「連携・協働で未来をつくる社会教育」～つながり合う地域を目指して～です。

各分科会では、研修主題を踏まえて地域の特色ある活動が課題提起され、それを受けて、参加者による活発な意見交流がなされました。



【分科会1】相楽東部広域連合
「連合15年の連携・協働で
未来をつくる社会教育」
～誰もがつながり合える
地域を目指して～



【分科会3】京田辺市
「京田辺市における社会教育の
現状と改善に向けた取組」

研修主題

「連携・協働で未来を
つくる社会教育」
～つながり合う地域を
目指して～

【分科会2】精華町
「地域とつながる社会教育委員」
「地域と学校の協働活動」について



～分科会(グループ討議)での主な御意見～

- ・社会教育委員の役割とは地域とつながること。現在、地域行事や祭り等みんなですることが少なくなり、自治会に入らないなど課題が出てきている。社会教育委員の働きかけが必要である。
- ・少子高齢化・人口減少課題については、日本全体の課題である。いろんなアイデアを募集するなど、発想を変える必要がある。
- ・事情が異なる地域で、その地域をどう束ねていくのか、旗振り役、リーダーを発掘、育成していくことが大切である。持続可能な活動にしていくには「人材」につける。
- ・高校生や大学生など、若い世代を取り込む活動を進めていく。